

『未来のまちづくりコンテスト』アイデアのヒント

「未来のまちづくり」と聞くと、大きな建物や新しい施設を思い浮かべるかもしれませんが、道路や建物をつくるだけが、まちづくりではありません。

八重原のまちにある場所や人などの「いいところ」を生かして、みんなが仲よくなったり、まちの困りごとが解決したりするアイデアを考えることも、すてきなまちづくりです。

八重原には、公民館、公園、お店、自然、地域で活動している人など、たくさんの魅力があります。今あるものを生かして、「こんなことができればもっと楽しい」「みんなが笑顔になれる」と思うアイデアを考えてみましょう。

ステップ1

「今あるもの」からアイデアを考えてみよう

◎人から考えてみよう（みんなのまわりには、いろいろな人がいます）

- * 家族 * 小学生・中学生* お年寄り* 子育て中の人・小さい子ども* 地域の人 *お店の人
- *障がいをもつ人 *外国の人 などなど

⇒「だれのためのアイデアかな」「この人たちといっしょに何かできないかな」と考えてみよう

◎場所から考えてみよう（みんなのまわりには、どんな場所がありますか）

- * 公民館* 公園 * 学校 * お店* 地域の広場や自然 *神社やお寺 *田んぼや畑 *自治会館 などなど

⇒「この場所でこんなことができれば楽しそう！」そんなアイデアから始めてみよう。

◎どんなことをしたい？

- * イベントを開く * みんなで集まる * 遊べる・学べる・食べる* 自然を楽しむ * 地域の人と交流する *ルールや仕組みをつくる などなど

「こんなことがあったら楽しい！」「みんなが笑顔になれる！」という気持ちを大切にしよう。

自分の「好き」から考えてみるのもいいよ。

(自分が好きなことや得意なことも、まちづくりにつながります。)

* スポーツ* ゲーム* 工作* 絵を描くこと* 音楽* 生き物* 料理* お祭り などなど

◎そのアイデアで、まちはどう変わるかな？

* みんながなかよくなれる *公園に来る人がふえる *まちがきれいになる * 子どもやお年寄りが安心して暮らせる * 八重原に人がたくさん来る *八重原がもっと好きになる などなど

《アイデアの例》

- * 公民館で世代を超えて楽しめるゲーム大会
- * 自治会館で、放課後に宿題を教え合える「みんなの勉強タイム」
- * 公園で季節ごとのイベント
- * お店をめぐるスタンプラリー
- * 地域の人から昔の遊びやものづくりを教わる教室
- * 使わなくなった本やおもちゃを交換できる日をつくる
- * ごみひろいポイント制
- * まちの色んなところに、八重原の歴史クイズの看板を立てる

～中学生向け～

「地域の魅力や課題を見つけて解決する」という視点が入ると、より具体的なまちづくりのプランになります。

① 地域の「いいところ」と「改善すべきところ」を見つけよう

(「地域」とは、家や学校を中心に、あなたが普段活動をするエリアで OK です)

例えば…

いいところ→ *人とのつながり*自然や景色* お店や地域のイベント などなど

改善すべきところ→ *通学路や公園にごみが落ちている *中高生が勉強できるスペースが少ない

*学校までの道で人通りが少ない所がある *若い人が八重原地区を知らない などなど

②具体的に何をするか、考えてみよう

アイデアは「今あるもの」を組み合わせても OK！

例えば…

* 公民館 × ゲーム大会

* 公園 × 星空観察会

* 畑 × 収穫体験

* お店 × スタンプラリー

* お年寄り × 昔遊び教室

* 小学生 × 中学生 × 地域の人

協力してもらいたい人たちや団体、実行する上での工夫やポイントも書けると Good！です。

ステップ2

紙に書くときのポイント

◎タイトル例

「〇〇公園を星空映画館にしよう作戦」 「放課後お菓子自習室」など（15 字程度）

◎アイデアの説明、絵や文を描くときのポイント

「誰のために」「どこで・何をして」「だれがよろこぶ・まちにどんなよいことがある」が伝わると、分かりやすいアイデアになります。

例：「お年寄りに」「公民館で子どもと昔遊びの日を開く」「みんなが仲良くなれる」

「小さい子どもに」「公園で宝探しイベントをする」「公園に来る人が増える」

※中学生は、「なぜ必要？（どんな課題や願いがあるか）」がわかると良いです。

「こんなこと、本当にできるかな？」と思うアイデアや、小さなアイデア也大歓迎です。

みなさんの自由な発想が、八重原の未来につながるかもしれません。